

(共創によるタクシー事業の供給の最適化モデル構築に向けた取組)

応募様式A

(高松市総合都市交通推進協議会)

事業の基礎情報

実施主体	高松タクシー協会
事業実施地域	高松市
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ こども・子育て ・ 教育・スポーツ・文化 ・ 商業・農業 ・ 宅配・物流 エネルギー・環境 ・ 地域・移住 ・ 金融・保険 ・ 観光・まちづくり ・ その他
共創パートナー	高松市
運行形態	①一般乗用タクシー ②道路運送法第4条における許可
運行主体	タクシー事業者24社

現状・課題

(地域交通の現状・課題に関する分析)

高松市においては「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えの下、持続可能な公共交通ネットワークの再構築を進めている。市内を運行している鉄道やバスの、幹線における供給の最適化モデルは構築が終了し、事業者と合意ができ、パッケージ事業に取り組んでいる。また、市と高松タクシー協会におけるスーパーシティへの提案を契機とし、既存の需要に合わせた供給の最適化を可能とする、タクシーを活用した新しい交通モード「バタクス」創出に向け、実証事業中である。このような中で、国において日本版ライドシェアが解禁された。高松タクシー協会においては、人手不足の状況下でも需要に対し適切に供給するため、圏域におけるライドシェアの導入について、これまでの各社個別の事業展開から脱却し、事業者の枠を超え一体となって対応できるよう検討しているが、一元的に配車データを取得し需要や供給を計る仕組みがなく、また、配車アプリを導入しても他のサービスとうまく組み合わせなければアプリが定着しないという課題がある。

地域公共交通計画への位置づけ
(位置づけ予定を含む)

有

運輸局・運輸支局への事前相談

四国運輸局交通政策部交通企画課

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

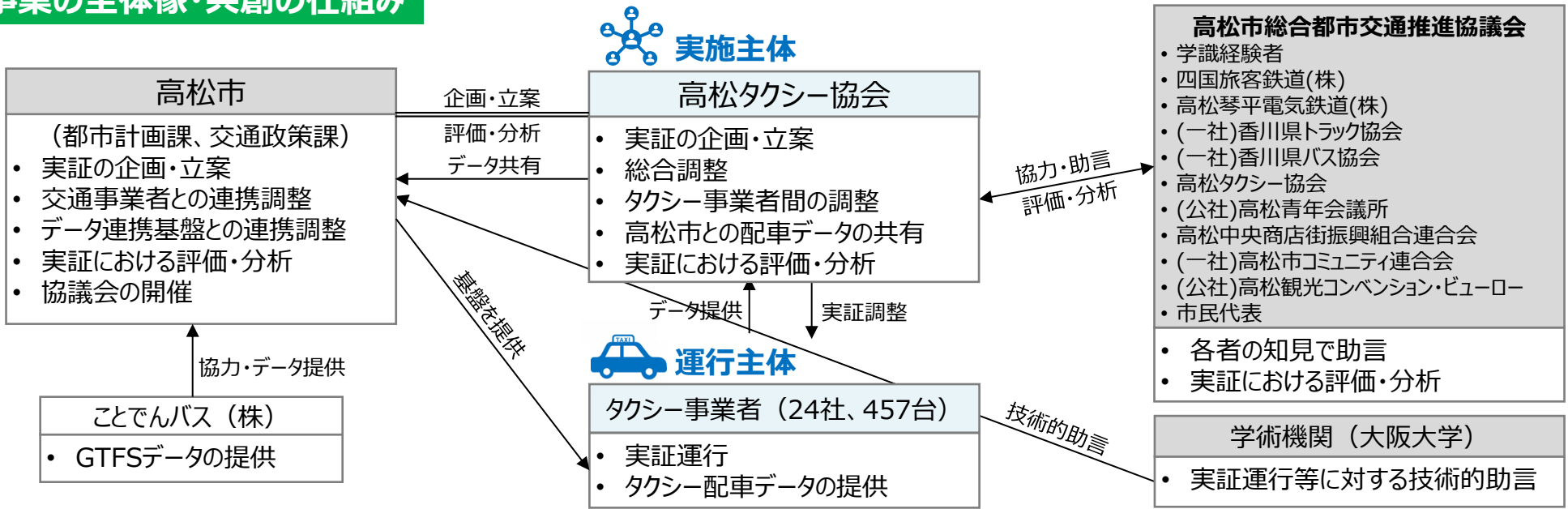
無

(共創によるタクシー事業の供給の最適化モデル構築に向けた取組)

応募様式A

(高松市総合都市交通推進協議会)

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

(事業の概要)

タクシーの需要や供給を計る仕組みとしてタクシー配車システム・アプリを導入し、事業者間の枠を超え、配車データを一元的に可視化することで、地域における一体的なタクシーの供給の最適化が可能な仕組みを構築する。また、取得した配車データを、高松市所有の地理空間データ基盤とAPI連携し、タクシーの需給バランスについて検証するとともに、配車アプリの定着化に向け、他モード・他分野データと組合わせたサービス創出に向けたデータ連携への課題を抽出する。

(地域の関係者との連携・協働)

高松市の幹線における再構築の考え方をタクシーにも展開し、タクシーにおける供給の最適化モデルを構築することで、人手不足の状況下でも需要に対する確かな供給を可能とした、タクシーのマネジメントに資する取組となる。また、高松市所有の地理空間データ基盤（データ連携基盤）をハブとした、他モード・他分野とのデータ連携による新しいサービスの創出により、幹線・支線が揃った、持続性の高い公共交通ネットワークの再構築に資する取組となる。

(地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

高松市では、幹線における供給の最適化モデルは構築が終了し、事業者と合意ができ、パッケージ事業に取り組んでいる状況だが、交通事業者における人手不足に対し、交通空白地域対策、インバウンドへの対応など課題は多く、支線において少ない需要に対し供給が可能なタクシーの位置付けは重要である。

応募様式A

(高松市総合都市交通推進協議会)

主体	内容	2024年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月
実施主体	交付金全体手続き			▼申請	▼交付決定（予定）								
実施主体	連携体制の構築				▼契約	配車システム・アプリ導入							
							配車アプリ動作確認 ・ 運用テスト						
	地理空間データ基盤 と配車データの連携					データ連携調整							
	実証運行								実証運行				
										アプリの周知・啓発			
実証の検証等								配車アプリにおける他モード・他分野連携の課題抽出					
									タクシーの需給バランス検証				
共創パートナー 高松市	地理空間データ基盤 の強化					データ連携調整							取りまとめ
	実証の検証等		●協議会						●協議会			●協議会	
										アプリの周知・啓発			
									配車アプリにおける他モード・他分野連携の課題抽出				
									タクシーの需給バランス検証			取りまとめ	

(共創によるタクシー事業の供給の最適化モデル構築に向けた取組)

応募様式A

(高松市総合都市交通推進協議会)

取組の詳細

(地域交通にもたらされると想定される効果)

高松市がR4年度デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し構築した地理空間データ基盤は、自治体が保有する都市計画、道路、建物等のインフラ情報を搭載した、軽くて速い操作性と機械判読可能という特徴を持つ地図基盤である。この基盤をハブとすることで、機械判読できる情報同士の連携となるため、他モード・他分野データと組み合わせた分析により、リアルタイムな需要に対する確かな供給が可能となり、タクシーだけでなく地域の公共交通ネットワークの最適化に資するものとなる。

(地域全体に及ぶと想定される効果)

他モード・他分野データと組み合わせた割引チケット等、今後の予約・決済と紐づいたサービス創出に向けたデータ連携への課題を抽出し、検討を進めることで、行動変容や社会課題解決に大きく寄与するサービスが提供可能となり、タクシーを呼ぶところでしか接点のなかったタクシー配車アプリを、地域の各種サービスとつながることのできるアプリとすることで、都市の魅力や暮らしの質の向上につながる。

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上		貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
○	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備		通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

(補助事業実施後の予定)

【高松タクシー協会】

2025年度 事業者拡大によるサービス拡充（事業者との連携機能追加）
2026年度 配車アプリ新規機能追加（目的施設との連携機能追加）
2027年度以降 配車アプリ新規機能追加（決済機能との連携機能追加）

【高松市】

基盤におけるインフラデータ・民間データ搭載、民間基盤との連携の拡充
マイナンバー活用の検討、隣接市町村との共同運用検討
新規機能追加（決済機能との連携機能追加）

資金面	- 地理空間データ基盤に係る開発費は自治体が負担、API提供やタクシー配車アプリ機能追加に要する費用は実施主体が負担 - 他モード・他分野データと組み合わせた割引チケット等の割引額については、実施事業者が負担
人材面（運転手の確保）	自治体が公共交通ネットワークの再構築に向け、交通事業者と合意形成を諮りながら需要に合わせた供給の最適化に取り組むことで、運転手の確保につなげる